

## 平成 30 年度 会長挨拶

静岡県高等学校体育連盟会長 加藤 洋一

静岡県高等学校体育連盟は、昭和 23 年、高等学校における体育・スポーツの振興を図ることを目的に設立され、本年で 71 年目を迎えました。この間、一貫して“体育スポーツを通して豊かな人間性とたくましく生きる力を育む”ことを目標に掲げ、これまで全国に誇る多くの実績を挙げて来ました。これも、静岡県及び静岡市、浜松市をはじめとする関係諸機関の御支援・御協力、並びに歴代会長はじめ役員や多くの指導者の皆様方の御尽力、そして何よりも各学校の生徒の皆さんの部活動や関係諸事業への意欲的かつ積極的な取組みの賜物と考えております。心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、本年度は、本県を含めた東海四県において、平成 30 年度全国高等学校総合体育大会「2018 彩る感動 東海総体」が、スローガン「翔べ誰よりも高く東海の空へ」のもとに開催され、本県では、体操（体操競技・新体操）、サッカー（女子）、バドミントン、相撲、弓道、自転車競技（ロード・トラック）の 6 競技 8 種目が実施されます。この高校スポーツ最大の祭典を舞台に、出場選手やチームはもちろん、昨年度から組織的な活動を続けている高校生活動をも含め、本県高校生には、その活躍に大きな期待が寄せられています。また、その後続く、平成 31 年のラグビーワールドカップ、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、県内にはスポーツ文化の一層の充実に向けて、その機運が高まりを見せています。

本連盟としましては、このような時節を好機ととらえ、改めて、加盟校の約 10 万人に及ぶ生徒が、高校時代の体育・スポーツ・運動部活動を通して、生き生きと明るく充実した学校生活を送り、その経験が人としての成長に繋がり、将来の人生における貴重な財産として生かされることを一層推進するところです。今後とも、多くの皆様方の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。